

下肢静脈瘤血管内レーザー治療

1. 下肢静脈瘤とは？

下肢静脈瘤は下肢静脈の弁不全により静脈血が逆流し静脈圧が上昇、その結果静脈が伸展・屈曲・膨張・肥厚したもので皮膚の色素沈着や潰瘍といった症状をきたすこともあります。成人の10～50%に見られ、年齢と共に頻度が増加することが知られています。

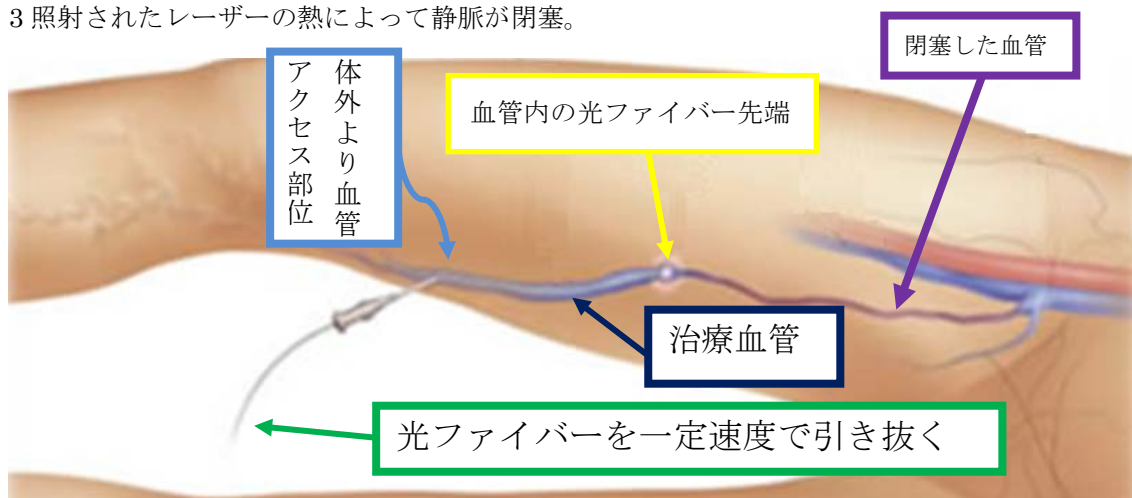
症状としては・・・

- ・ 足の静脈がこぶ状になり、だるい・思い・疲れる・ほてる
- ・ 歩行時もしくは就寝中にこむら返りを起こすことがある
- ・ かゆみ・皮膚硬結・皮膚炎や湿疹がある
- ・ 皮膚が黒くなる・潰瘍ができています



2. レーザ治療とは？

- 1 治療する静脈にレーザーを導く細い管（イントロデューサー：約 1.65mm）を入れる。
- 2 レーザーを照射しながら血管に沿って光ファイバーを引き抜く。
- 3 照射されたレーザーの熱によって静脈が閉塞。



※ 実際はエコー、局所麻酔など検査、処置なども行われます。

3.レーザー治療のメリット

- ・ 日帰りを含む“短期滞在手術”で行えます。
- ・ 手術の傷跡は1か箇所が目立ちません。
- ・ ストリッピング手術（標準的な根治術）と同等の治療効果が得られます。
- ・ 早期社会復帰が可能（術後1～2日）。

4.よくある質問

Q1、レーザー治療の対象となる方は？

大伏在静脈または小伏在静脈の弁が壊れて逆流がある場合です。（超音波診断装置（静脈エコー）等にて逆流状態を検査し、さらに症状等を加味した上で医師により判断されます。

Q2、保険診療は受けられますか？

はい。ELVeSレーザー（当院の治療器）による下肢静脈瘤治療は平成23年1月より健康保険による診療が認められるようになりました。

Q3、レーザー治療は危なくないですか？

安全性に関しては日本国内で行われた臨床試験で確認されており、海外では入院設備のないクリニックでも一般的に行われております。治療の方法は手術というより放射線科などで行うようなカテーテル治療に近いものです。超音波エコー検査や特殊な局所麻酔に関する経験と知識が必要ですので、下肢静脈瘤の治療に詳しい医師がこの治療を行う必要があります。

Q4、治療時間は？

治療時間は片足30分～1時間程度です。麻酔方法により異なりますが、術直後から歩行も可能です。

Q5、手術後の傷跡は？

傷跡は光ファイバーを入れる部分のみです。細い針で静脈を刺す方法と数ミリ切開する方法がありますが、いずれも1箇所です。